



No.837 2021年  
3月8日

国鉄労働組合東日本本部  
港区新橋5-15-5 交通ビル7F  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 常盤 達雄

1人で悩まず  
国労へ相談。  
みんなで楽しく  
がんばろう!

# 第38回東日本本部拡大委員会 書面及びWeb上で開催!



国労東日本本部は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されていることを考慮し、2月6日から12日にかけて第38回拡大委員会を、Web及び書面審議により開催しました。

会場の交通ビルB1Fには執行部、別会議室には委員会議長・副議長のみが集まり、委員会構成員（各委員、各地本委員長・書記長、各職協議長）は、それぞれの地方本部・地区本部事務所からの参加としました。

委員会は渡辺副委員長の司会で始まり、議長には東京地本・横倉委員、副議長には東京地本・高瀬委員を選出しました。

各会場とWebでつないだ委員会は、横倉議長のあいさつ、大沼委員長のあいさつと続き、その後、伊藤書記長から今後の進め方が説明され、当日は短時間で一旦休会となりました。休会後に各委員からの発言を文書で受け付け、2月

10日に書記長集約を各構成員に送付、それを踏まえて各委員から各議題に対する評決の可否を送付して頂き、12日に議長団の立ち合いの元、議題1（協約協定）、議題2（方針案）ともに賛成多数で成立し、委員会の全日程が終了しました。

## 委員からの発言

### 及川委員（盛岡）

- 新・在の組織分離。慢性的な要員不足。超勤問題。しっかりと検証していく。
- 春闘の闘い。組合の必要性を未加入者へ訴えていく。
- 賃金実態アンケートは非常に良い取り組み。
- 新採に積極的な声掛け、交流している。彼も「組合は必要」との認識。

### 宮崎委員（秋田）

- 多い業務量を知らしめようと協力して行った業務研究だが、工事立ち合いのリモート化で業務量減。安全側の施策ではないことに不満はあるが、一定程度の成功体験を共有できた。こうした体験を拡大に繋げたい。

- 代議員選出基準を変更されると秋田は議席を失う。組合の将来を共に決める機会を失わせたくないよう。

### 鈴木委員（仙台）

- 2名の女性が入会。職場にこだわる中から。差別的な異動。労働者を尊重する企業に変える取り組みを。
- 不本意な再雇用先の提示。退職日の直前提示。無呼吸症候群の仲間にも単身赴任。21春闘。社友会の若手社員に組合の役割や必要性を伝えていく。

### 結城委員（仙台）

- 春闘要求。あまりに低い要求額。要求獲得の為の考えを伺う。
- 女性組合員の不当配転。産業医からも今の職場では働けないとの指摘。早急に取り組みを。
- 嫌がらせ的なエルダー先提示。あらゆる手段で、組合員を守る事が大切
- 貨物シニア組合員が新幹線通勤。所得とみなされるため、雇用調整金が払われない。



横倉議長（東京）・高瀬副議長（東京）

## 委員長あいさつ



## 教訓に学び、取り組みを広げていこう

（全文はHPに掲載）

1点目は21春闘について第191回拡大中央委員会で決定された当面の闘争方針に基づき、定期昇給の完全実施と5000円を基本とするベースアップ等を求め、職場から全組合員参加による春闘を積み上げ、会社交渉を後押ししていく。また、企業の枠を超え連帯の取り組みを行うなど、地域春闘を盛り上げていく。

2点目に組織の強化・拡大について

労働組合が少数派になっても、青年部の賃金アンケートに協力してくれる若手社員は大勢いるし、過半数代表選挙では3年取り組んできて、組合少数でも非組合員の支持が必ず得られること、社友会ではなく労働組合員が選ばれることから、職場に労働組合が必要なことを改めて確認してきた。大会以降にも拡大している職場、分会の教訓に学び、取り組みを広げていこう。

3点目の労働条件改善について

「安全・安定輸送」確立の取り組みについては、定期大会以降も残念ながら事故率は絶えない。合理化、効率化のスピードに追い付けない職場の実態が、社員の命と引き換えになつてはならない。「電気の変革2022」施策後、業務研究発表で「大変な職場実態」を会社に伝えようと取り組んだ組合員を、データ収集等で積極的に手伝ってくれた職場がある。労働組合が社員の声をどれだけ拾いきれるか、仲間づくりが課題であり、信頼が運動の前提になければならない。

最後に平和と民主主義を守る取り組みについて

原発、安全保障、改憲など安倍政治を引き継いでいる菅政権は容認できない。コロナ感染症対策の混乱、GOTO事業の中断、遅れた緊急事態宣言などへの対応に国民の支持は大きく落ち込んでいく。秋までには衆議院議員総選挙が実施される。立憲野党が擁立する統一候補などの当選に向けて奮闘していく。

その他にも、多くの課題が山積しているが、各委員の真摯な討論により職場、地域での運動の成果や教訓が補強され、2021年春闘をはじめとする当面する闘争方針が確立されるよう心から要請し、執行委員会を代表しての挨拶とする。

藤井委員 (新潟)

除雪作業で1月に4日間在来線が全て終日運休。保線職場は委託化が進み要員不足。除雪車両の取扱い、運行など技術力の低下、取扱い不備で車両故障が発生。雪に慣れていない指令、駅、現場との連携が取れないで作業変更などが多発し、除雪作業が進まない。

黨委員 (高崎)

春闘では、ストライキを背景にした行動提起を。

新幹線統括本部の電気職場にフレックスタイム制導入。交渉に高崎からも出られるよう再度要請。

エリア役員による挨拶は、貨物の内容が触れられていない場合が多い。

黒澤委員 (水戸)

組織拡大に向け「対話行動」取り組む。飲み会がダメなら昼食で、といった創意工夫を。

職場過半数代表選挙では、

我々の主張を未加入者に訴えてきた。昨年代表を取ったJESSでは、職場を回りプロパー社員の声を聞きながら闘ってきた。

地本ホームページを作成。

飯田委員 (千葉)

線路科では毎日2時間以上の超勤。緊急点検や業務量の多さが原因。実態を明らかにし、会社に改善を求める。

一昨年、設備関係職場の総務科が支社に統合。小物の請求は各自で連絡。時間ギリギリの帰着も多く、現場

場のことを考えていない。

松本委員 (長野)

松本電車区分会では新採配属が前日に分かり、会社に組合説明会を申し入れ、顔合わせができた。

若い組合員が飲み会を開催。平成ユニオンを作ろうかと冗談が出るくらい多くの社員が労働組合の必要性を感じている。

職協体制の簡素化を。

井草委員 (神奈川)

「働き方改革」はジョブローテーションと称して配置転換を強行。運動の可視化が求められる。小さな要求の勝ち取りでも、正当な要求は叶うし、変えることが出来るということ、を、宣伝し、広めることが大切。

かつて経団連は「内部留保は、不測の事態を乗り切っていくため」と説明。今だからこそ、生計費原則に基づき賃上げが必要。

粉川委員 (神奈川)

JESS職場の労働条件改善。辻堂駅(全面委託駅)で遠隔操作システムを3月から使用開始。労働条件の変更が団体交渉なしで一方的に。支店段階での交渉が不可能。東日本本部の交渉、業務報での報告が重要。このサイクルがしつかりしているから加入にもつながらず。

佐藤委員 (八王子)

八王子支社は「営業関係施策について」1・2・3を矢継ぎ早に提案。出札窓口の閉鎖や営業時間短縮、業務委託など。地区本部で

は要求を集約。検証活動も強めながら取り組んで行く。地区本部では現職100名、エルダー170名と大変厳しい状況。先輩方にも奮闘をお願いする。

金谷委員 (大宮)

組織拡大には至らないのは、個人的な頑張りのみで、分会全体の運動になっていないため。不安な声を丁寧

に聞く中で、拡大に繋げる。

大宮総車セの職場代表者選挙では、国労から立候補して組織人員の三倍の得票。

未加入者の多くが組合は必要と考えている。

執行部答弁

職場での組織拡大の取り組みは、違いがあっても当然。組合員が「これだったら出来る」ということを見つけて、実践出来る状況を作っていく。ただ、事をお願いする。

新幹線統括本部との交渉では、交渉委員数4名の中で、事案を見ながら交渉委員の差し替え等、工夫をしていきたい。

代議員選出基準の見直しについては、中央本部にて職場討議資料を作成中。それを基に議論・認識を深めたい。

貨物シニア社員の定期代が所得に参入される問題。本部・全貨協には伝えていきたい。東北貨物協議会からも本部・全貨協に伝えていただきたい。

書記長集約



9地本の団結で運動の躍進を!

「安全・安定」輸送確立、安心して働き続けられる職場づくりに向けて。

「変革2027」で進められている様々な施策の現状報告を頂いた。

コロナ禍において、会社は「変革のスピードアップ」を明言。都合の良い社員の「声」を巧みに施策の推進力として利用してくる。委員の報告にもあつたように、実態に



基づいた現状や社員の「声」をいかに集約し、少しでも改良・改善に結び付けることが大切であり、信頼関係もそこから生まれる。

エルダー制度における丁寧さに欠ける運用が報告された。各地方と連携し、改善に向けた取り組みを進める。グループ会社の労働条件改善についても進めていく。安心して働き続けることのできる職場こそが「安全・安定」輸送を支えるという立場で、団体交渉の強化を図っていく。

21春闘について。拡大中央委員会において、基準内賃金の1.87%相当額、5,000円を基本とする「ベ・ア」要求も含めた、「統一重点要求9項目」が確立された。それを踏まえて、東日本本部として第二基本給の廃止などを

求める幅広い要求項目とした「賃金改善を求める申し入れについて」を提出した。貨物会社に対する春闘要求については、本部・全貨協が確立することになる。

現在、青年・女性社員賃金実態アンケートを実施。集約した声を会社に訴えていく。団体交渉は労働組合だから取り組めることであり、組合未加入者への宣伝、掲示板・情報綴りの活用強化、創意工夫した取り組みを。

組合未加入者は、労働組合の必要性は感じながらも、遠ざかる社員が多い。労働組合への信頼を取り戻すため、国労としてのメッセージをいかに伝えるかが重要となる。

まもなく今年の過半数職場代表選挙が行われる。組織拡大を意識し、積極的かつ柔軟な取り組みを要請する。

以上大きく3点について集約した。新型コロナウイルスの収束が見えない中でも、時間は進んでいる。組織の体制整備や国鉄世代からJR世代への運動の継承など、課題は山積しているが、9地本本部が団結して運動の前進を図っていたただく事をお願いし、第38回拡大委員会の集約とする。

喫緊かつ最重要課題である組織強化・拡大について。2012年に発出した「組織拡大全国統一行動の展開」(闘争指令1号)の総括がまもなく提起。それを踏まえて各地方からの総括運動を。組織実態に見合った体制の見直し具現化は待ったなしである。

「安全・安定」輸送確立、安心して働き続けられる職場づくりに向けて。

「安全・安定」輸送確立、安心して働き続けられる職場づくりに向けて。

賃金実態アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

皆様から頂いたデータを基に、会社との新賃金交渉に向けて活用させて頂きました。集計結果については、別途ご報告させて頂きます。

がん治療を幅広くまとめて保障するがん保険

NEW/ アフラックの生きるためのがん保険 ALL-in



No.1 がん保険 医療保険 生命保険 保有契約件数

「生きるためのがん保険Days1 ALL-in」は、がんに関する治療費に加え、治療関連費も幅広くまとめて保障する保険です(所定の支払事由に該当する必要があります)。

アベニール株式会社 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階 TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック 東京第二法人営業部 TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658